

平成19年度事業報告書

1. 事業の状況

A. アジア・アフリカ図書館事業

アジア・アフリカ図書館は、アジア・アフリカ文化財団創立50周年記念施設整備計画に従い、管理棟(旧図書館建物)2階に事務所ならびに書庫を集約するべく、棟内での引越しを行った。これにともない、西江雅之新図書館長により、蔵書の構成・陳列・収集についての新方針が策定され、これに則った蔵書の整理を行った。業務執行の状況は以下の通り。

(1) ホームページの運営

URL : <http://www.aali.ac.jp/aa-lib/> (18年11月開設)

「アジア・アフリカを知る集い」などの新しい情報を、トップページの「新着情報」にのせている。

(2) 「沫若文庫目録(新版)」の作製

従来の目録と文庫内の蔵書を照合し、新版を作成した。

(3) 蔵書の整理、登録ならびに新規購入

ほぼ一年間にわたる蔵書整理を完了し、アジア・アフリカの言語や文化などに関する原書、日本語、英語などの書籍/資料を集めた図書館として、平成20年4月1日の再開館に備えた。

平成20年2月8日の時点で、蔵書数は約20,200冊。登録作業は、辞書・食文化の登録を終了した。なお、食文化に関する図書を20冊ほど購入した。

(4) 講演会の実施

「アジア・アフリカを知る集い」(第2回～第5回)を開催した。

1. 「アジア・アフリカを知る集い(第2回)」『モンゴルを訪ねる』
平成19年5月19日、講演者:渡辺隆宏、シニンバヤル、受講者数:17名
2. 「アジア・アフリカを知る集い(第3回)」『台湾原住民族の話』
平成19年6月30日、講演者:山本芳美、受講者数:17名
3. 「アジア・アフリカを知る集い(第4回)」『アラブの香料の話』
平成19年12月15日、講演者:井上瑞子、受講者数:18名
4. 「アジア・アフリカを知る集い(第5回)」『“モンゴル相撲”の話』
平成20年3月8日、講演者:三矢緑、渡辺隆宏、受講者数15名

B. アジア・アフリカ語学院事業

(1) 専門課程

実施学科および入学・卒業生徒数

a) アジア系語学科

中国語研究科(1年課程)を実施した。卒業生の進路は留学1名(中国)。

課程	学科	在籍学生数			卒業生数
		1年	2年	計	
	中国語研究科(1年)	2		2	1
	計	2	0	2	1

中国語学科、アラビア語学科、インド語学科(2年課程)の在籍者はいなかった。

b) 日本語教育

日本語学科では18年10月入学「進学1.5年コース(37期)」、19年4月入学「進学1年コース(38期)」、19年10月入学「進学1.5年コース(39期)」を実施した。進学実績は次の通り。大学院5名、大学・短大13名、専門学校16名。

課程	学科	在籍学生数				卒業生数
		37期	38期	39期	計	
専門課程	日本語学科 進学1年コース	/	36	/	100	45
	日本語学科 進学1.5年コース	25	/	39		

日本語学科の在籍学生数は入学者数

その他

平成20年2月に1泊2日の日程で修学旅行を実施(2月2日、3日)。場所は長野県川上村。

(2) 生涯教育・委託研修

生涯教育

一般社会人向けの生涯教育部門では、土曜コース(別科速成科昼間クラス)の他、少人数のニーズに応える特別講座や短期講座(2日間集中講座)を実施した。

また、三鷹ネットワーク大学において、アジア・アフリカ文化財団の企画講座(文化人類学講座「異文化の眺め方」)を実施。同大学ではその他にも語学のサテライト講座を実施した。

a) 別科

(初級)

言語	在籍学生数				修了生数 (初級修了)
	入門	初級1	初級2	初級3	
速成科アラビア語	15	9	6	5	5
速成科ヒンディー語	5	4	4	4	4
速成科韓国語	9	8	6	6	6
速成科タイ語	/	/	2	4	4
速成科ペルシア語	/	/	3	3	3
速成科モンゴル語	2	2	3	/	/
アフリカ語科スワヒリ語 (三鷹ネットワーク大学)	/	/	6	/	/
計	31	23	30	22	22

(中級)

言語	在籍学生数			
	中級1	中級2	中級3	中級4
速成科アラビア語	3	2	5	5
速成科ヒンディー語	3	3	3	3
速成科韓国語	2	/	/	/
速成科タイ語	4	4	/	/
速成科ペルシア語	4	3	/	/
計	16	12	8	8

(上級, 研究)

言語	在籍学生数					
	上級2	上級3	上級4	上級5	上級6	上級7
速成科中国語	/	/	4	4	4	2
速成科アラビア語	4	4	8	8	3	4

計	4	4	12	12	7	6
言語	在籍学生数					
	研究5	研究6	研究7	研究8		
速成科韓国語	5	3	2	3		
計	5	3	2	3		

b) 特別講座

講座	受講生数
ヒンディー語文学講読	2
ベトナム語入門サテライト(三鷹ネットワーク大学)	6
中国語入門サテライト(三鷹ネットワーク大学)	5
韓国語中級特例(少人数のため回数調整)	2
プライベートレッスン	4
セミプライベートレッスン	2
土曜コース補講	1

c) 2日間集中講座

課程	講座名(場所)	開講時期	開講言語数	受講生数
講習会	2日間集中講座(吉祥寺)	2007年4月	3	34
	2日間集中講座(吉祥寺)	2008年3月	2	8
計				42

d) 三鷹ネットワーク大学における企画講座

講座名	アジア・アフリカ文化財団企画講座 「異文化の眺め方～文化人類学入門～」
実施期間	平成19年10月～12月 火曜日週1回(19:00-20:30)
講師	渡辺隆宏講師
参加者数	12名

身近な事柄を話題にしなが、異文化を正しく認識することを主眼に講義を行った。

講座名	アジア・アフリカ文化財団企画講座 「異文化の眺め方その2～文化人類学のススメ～」
実施期間	平成20年1月～3月 火曜日週1回(19:00-20:30)
講師	渡辺隆宏講師
参加者数	18名

上記の継続講座。「宗教」や「民族」などの話題を取り上げた。なお、初めて受講する方にも配慮し、導入部分の講義は上記と同じ内容で行った。

委託研修

官公庁からの委託研修生を対象としたクラスを中心に、アジア・アフリカ語の委託研修を例年通り行った。

警察大学校国際警察センター 3件
 埼玉県警察本部 1件
 法務省入国管理局 1件 以上5件を実施。

また、宮城県人事委員会より同県職員採用試験(中国語)の作成業務等を受託し、第1次筆記試験の作成・採点と第2次面接試験での試験官を派遣した。

(3) 対外活動

三鷹国際交流フェスティバル

三鷹国際交流協会が主催する「三鷹国際交流フェスティバル」に参加。テントショップを出店（19年10月）

上級学校訪問（見学）の受入れ

近隣の公立中学校が行う「上級学校訪問」の受入れを行った。

来校した中学校：多摩市立鶴牧中学校（19年10月）

立川市立立川第一中学校（20年3月）

三鷹市中原小学校との交流活動

三鷹市中原小学校4年生の「総合的な学習の時間」の国際交流を体験する授業に日本語学科留学生が招かれた。互いの国の紹介やゲームを通して交流を深めた（19年9月、12月、20年1月）

C. 交流支援事業

（1）外国人研修生教育

他団体の実施する「外国人研修生向け非実務研修」に対して、研修指導員の派遣を行った。（年間11回、延べ129日）

平成20年度から実施を予定している「外国人研修生の受入れ業務」の開始準備として、中国の送出し機関である「中国青年国際人材交流中心」（中華全国青年連合会、北京）と、『研修事業に関する協定書』ならびに『友好合作に関する備忘録』の協約締結を行った。

（2）外国人子弟教育

三鷹市内在住の外国人子弟2名（学齢：小学校6年生相当ならびに高校2年生相当）に対して、夏休み期間を利用した、実験的な「外国人子弟日本語教育支援プログラム」を実施した。学齢が小学校6年生相当の子女は、プログラム終了後、市内の小学校に編入した。また、未就学の状態であった学齢が高校2年生相当の子女については、日本の高校への編入が困難であったため、アジア・アフリカ語学院専門課程日本語学科での聴講を認め、日本語力の向上を図った。

（3）外国人学生宿舎運営

アジア・アフリカ語学院に在籍する留学生の宿舎確保を目的として近隣の民間アパートを借り上げ、学生寮として利用している。今年度の実績は、契約部屋数39部屋、入室者数42名。

D. 翻訳事業

官公庁、企業からの依頼を受けて、年間257件の翻訳案件を処理した。

なお、翻訳者登録数は、年度末現在125名。

E. その他

（1）維持会員の状況

年度末現在5社。

（2）財団創立50周年記念事業の実施

『革新と創造』（財団法人アジア・アフリカ文化財団創立五十周年記念誌）の製作

第一部 アジア・アフリカ文化財団活動五十年の歩み（沿革史）

第二部 記念論文編

別冊 沫若文庫目録

版型・部数・発行年月日：B5版、600部、平成20年1月20日

施設整備

校舎棟（旧第一校舎）改修工事

管理棟（旧図書館）改修工事

第二校舎 解体工事

学生寄宿舍『有朋館』（433.86 m²、鉄筋コンクリート造 3 階建）新築

記念式典

平成 20 年 1 月 20 日に三鷹市内の三鷹産業プラザにて開催。当日は、当財団の役員、AA 語学院の教職員や卒業生、所管官庁である文部科学省生涯学習政策局長、三鷹市長、市議会議長はじめ多数の関係者に来賓としてご出席を頂いた。出席者数 223 名。

（3） 公益法人制度改革ならびに新公益法人会計への対応

公益法人制度改革 3 法案の施行（平成 20 年 12 月）に向けて、制度改革への対応を検討した。なお、新公益法人会計については平成 18 年度より適用し、対応済みである。

2. 庶務の概要

A. 役員に関する事項

役職名	氏名	就任年月日	備考
理事	菊 地 弘	平成 19 年 6 月 30 日	アジア・アフリカ文化財団会長 理事長を兼務
理事	篠 原 昭 雄	同	アジア・アフリカ文化財団専務理事
理事	木 村 実 季	同	アジア・アフリカ文化財団常務理事
理事	西 江 雅 之	同	アジア・アフリカ図書館長
理事	堀 中 浩	同	明治大学名誉教授
理事	小 山 晃	同	オーケー フィッシャリーズ社長
理事	西 崎 哲 郎	同	KFi 株式会社社長
理事	中 江 利 忠	同	元朝日新聞社社長
理事	小 倉 正 雄	同	（株）立川都市センター取締役
理事	黒 柳 恒 男	同	東京外国語大学名誉教授
監事	永 井 和 雄	同	元東洋建設株式会社常任監査役
監事	山 本 忠 雄	同	山本会計事務所所長

B. 職員に関する事項

	平成 18 年度			平成 19 年度		
	男子	女子	計	男子	女子	計
事務職員（財 団）		1 名	1 名		1 名	1 名
（図書館）		1 名	1 名		1 名	1 名
（語学院）	3 名	1 名	4 名	3 名	1 名	4 名
専任教員（語学院）	1 名	2 名	3 名	1 名	2 名	3 名
計	4 名	5 名	9 名	4 名	5 名	9 名

職員を兼務する常勤役員を除いている。